

## 【平成27年度 第1回 外国籍市民施策懇話会議事要旨】

日 時 平成27年6月30日（火）18：30～20：00  
場 所 市役所 東館3階 政策審議室  
出席者 委 員…阿曾、石原、小原、可児、小林、高橋、野間  
事務局…石川部長、近藤課長、浦係長、牧野  
傍聴者 1名

### 1. あいさつ

市民生活部長より挨拶

### 2. 委嘱状交付

- ・代表として50音順1番の「阿曾ロエナ」委員に市民生活部長より交付
- ・その他の委員については、席に配布にて省略
- ・交付後、懇話会委員、事務局の自己紹介

### 3. 会長及び副会長の選出

- ・会長は豊明市外国籍市民施策懇話会運営規則第5条第2項の規定より委員の互選。小林委員より高橋委員が推薦され、他委員より異議なく高橋委員を会長とする。
- ・副会長は同条第4項の規定により会長が指名、阿曾委員を副会長とする。（以後、会長が議事を進める）

### 4. 今期2年間の取り組みについて

#### (事務局)

現豊明市多文化共生推進計画の評価、次期豊明市多文化共生推進計画の策定、豊明市外国籍住民の状況把握、など今期の取り組みについて説明。

#### (委員からの意見)

- ・昨年度1回開催のみで、期間が空きすぎて内容がわからなかった。今期だけでなくそれ以前の期間にどのような取り組みがあったかについても知りたい。
- ・図書館にポルトガル語の本があり、子どもたちの反応がよい。（ただしスペイン語の本が少ない）
- ・市に転入する際に1つのセンターのようなところを設け、各部署の情報を得られるようにしてはどうか。
- ・ブラジル人だけでなく、他の外国籍住民についても、課題の把握ができるような懇話会にしてほしい。
- ・教員が通訳にすべて任せている。教育現場で通訳の立場を見直さなければならない。

(会長から5点まとめ)

- ・提言 → 情報センター
- ・現状・アピール → 通訳
- ・課題整理 → 懇話会のあり方
- ・情報交換 → の場となるように
- ・具体化 → ただの話し合いで終わってはいけない。(予算化など)

5. 多文化共生推進に対する豊明市の現状について

(事務局)

統計データを用い、市の外国籍住民の動向、近隣市町の多文化共生計画策定状況、市の多文化共生推進計画関係の事業報告、国・県の施策について説明。

(委員からの意見)

- ・団体の中で外国籍住民がグループ化している。(日本語を話さなくても生活している)
- ・行事についても外国語の案内を出すのが反応が薄い。(窓口がわからない)
- ・核となる人に懇話会に出席してほしい。
- ・TIRAの日本語教室(大人)では、8割がベトナム人(増えている)
- ・外国語の文書を配布しても、文書がたくさんあればまず読むことはないの、やはり直接話すのが一番効果的である。
- ・議題となるテーマごとに担当課の出席をお願いしてはどうか。
- ・転入の際にどのような対応をしているか、現状について確認してほしい。
- ・いじめはあまりないが、文化的な違いから、マナーやルール面で保護者間の衝突がある。
- ・日本語が理解できていても、日本社会に何となく馴染んでいないなという子どもが見られる。
- ・子どもの進学の話が前回の懇話会であったが、その後の動きはどうか。(10月の進路説明会の話に触れる)

□ 次回開催日 平成27年9月29日(火) 18:30～